

三人称単数 否定文	① Takuya does not write a blog. (タクヤはブログを書きません。)
--------------	---

① 主語が3人称単数のときの一般動詞の否定文⇒【does not+動詞の原形】
主語が3人称単数のときの一般動詞の否定文は動詞の前にdoes notを置く。
このとき後ろの動詞にはsやesはつかずに原形になる。助動詞と同じ。
does notは短縮してdoesn'tにしてもよい。

He doesn't write very often, but he gets a lot of nice comments.

彼はあまり頻繁には書きませんが、たくさんの素敵なコメントをもらいます。

否定文でveryは「あまり…ない」という意味となる。oftenを修飾しているので、「あまり頻繁に…しない」という意味。

Takuya usually posts pictures on his blog, but he can't take pictures in the sea.

タクヤはたいてい自分のブログに写真を載せますが、彼は海の中で写真を撮ることができません。

usuallyは「たいてい」という頻度を表す副詞で一般動詞の前に置く。副詞があっても動詞はsがつくので注意。

He doesn't have a waterproof camera.

彼は防水カメラを持っていません。

主語が三人称単数で否定文になる時は、動詞は原形の形にもどる。

So he wants one.

だから、彼はそれが欲しいです。

oneは前に出てきた名詞の代わりに使われる代名詞。今回の場合はa waterproof cameraを指す。

He really loves the beautiful sea life.

彼は美しい海の生き物を本当に愛しています。

lifeは「生活」の他に、「生き物」という意味もある。ここでは「生き物」の意味。

① 彼はあまり頻繁には書きませんが、たくさんの素敵なコメントをもらいます。

② タクヤはたいてい自分のブログに写真を載せますが、彼は海の中で写真を撮ることができません。

③ 彼は防水カメラを持っていません。

④ だから、彼はそれが欲しいです。

⑤ 彼は美しい海の生き物を本当に愛しています。